



*4月12日(水)綾瀬高齢者福祉会館「ベルやってみよう会」開催

*2023年の高齢者訪問については 2か月前には先方に連絡を入れてください。

新グループ発足です。お知り合いをお誘い下さい。

10時～11時30分 出演 綾瀬ベル夢キャラ

*道志会の菅原さんから嬉しいコメントをいただきました。自主訪問コンサートに行かれる際には練習も皆様に喜んでいただくように様々な工夫をされている事と思います。その努力をしっかりと受け取って頂いているのですね。ますます頑張ろうと思われていることでしょう。

*泉正園・道志会で定期自主訪問コンサートがあります。

海老名ボイス活動報告～ひばりが丘小学校を訪問して～

自主活動による 訪問コンサート報告



心を合わせて演奏されている様子が伝わってきますね

2月13日(月)ひばりが丘小学校に朗読公演に行ってきました。昨年は残念ながら直前で中止となったため2年ぶりの訪問です。児童の皆さんに会えるのを楽しみにメンバーは張り切って学校へ向かいました。「おはようございます!」「よろしくお祈りします!」元気な挨拶で公演の始まりです。

朗読劇は可愛い子狐が登場する「めぐりめぐる」、カエル君とガマ君の友情が素敵な「おてがみ」優しさがおばあさんの命を救った「水曜日のオムライス」ユーモアあり切なさありの「長ネギ一本」児童たちは興味津々に映像を見つめお話を聞いてくれました。

ここからは児童の皆さんも参加です。早口言葉に数え歌、ずいずいずころばしでは、4～5人の輪に私たちも混ざり楽しみました。私たちには懐かしい手遊びも児童の皆さんには新鮮だったようです。あちらこちらで歓声も聞こえました。

そして詩の朗読にも挑戦してもらいました。齋藤先生の指導の下「大漁」(金子みすず作)では前半は大漁の様子を元気に、後半は静かにゆっくりと、詩の内容をよく考えて表現、「春の七草」では平安時代に思いを馳せ、朗々と斉唱しました。みんなの一生懸命挑戦する姿が印象的でした。最後には寿限無の大合唱で一体感を味わいました。

一昨年の広い体育館とは異なり、視聴覚室では近い距離で児童の皆さんとコミュニケーションがとれ楽しい時間となりました。

3クラス3時間の公演は少し大変でしたが、充実した一日でした。ありがとうございました。(海老名ボイス 赤松孝子 記)

1年生
朗読劇 めぐりめぐる。おてがみ
副教材 早口言葉。セリフの練習
50音(北原白秋) 春の七草
手遊び
ずいずいずころばし

2年生
朗読劇 水曜日のオムライス。長ねぎ1本
副教材 早口言葉。セリフの練習
おまつり(北原白秋) 秋の七草
手遊び
一羽のカラスが。いっちょこ

3年生
朗読劇 水曜日のオムライス。長ねぎ1本
副教材 早口言葉。セリフの練習
大漁、星とたんぼぼ(金子みすず)
お経、ふるさと、やおやさんの売り声

施設担当者の声

2017年演奏風景

日頃お世話になっている道志会の菅原デイサービス担当者にコメントを寄せて頂きましたのでご紹介いたします。



ワンハートさんに訪問に来て頂き感謝しております。デイサービスでは様々なボランティアさんによるもようしが再開し始めております。フルート演奏、ハーモニカ演奏、日本舞踊、フラダンス、書道、絵手紙、健康体操などです。やはり音楽や踊りが好まれています。いずれ民謡や詩吟も再開予定です。訪問にお出でにならない時は私たち職員で脳トレやゲームなどを行っています。現在デイサービスには100人くらいの方が登録されています。ワンハートさんの訪問は大変喜ばれています。1時間のプログラム構成がうまいと思いますし、懐かしい音楽の数々で選曲が良いのと皆さんのお人柄だと思います。

コロナ禍も丸三年が過ぎましたが、私たちのグループも歳を重ねて健康に関する話題が多くなってきたような気がします。昨年は25周年コンサートの発表に向かって「25周年までは頑張ろう」という合言葉のもと、日々練習に励んできました。特に「どうにも止まらない」の曲では前奏を聴きながら帽子のパフォーマンスを行いましたので、緊張は大変なものでした。

コンサートも無事終わり今年になってから高齢者施設からの訪問依頼が2件もありビックリしました。その内の1件、ソンプラビーレ厚木には2月24日に行ってきました。館内に入るとお雛様の七段飾りがあり、久々に訪問演奏を行う緊張感で一杯になりました。オープニングは「うれしいひな祭り」。そのあと唱歌民謡歌謡曲ありと全10曲30分の演奏時間はアツという間に終わってしまいました。皆さんの中で「古城」が大好きと言って下さった方がいらしたので、アンコールも「古城」にさせて頂きました。演奏中に口ずさんでいる方々もいましたので、以前なら歌詞カードをお配りして、皆さんに大きな声で歌って頂いたのを思い出しました。早く以前の日常が戻ると良いですね。これからもカサブランカのみんなで、ボランティア活動が出来たら良いなあと思った一日でした。(カサブランカ 萩原節子:記)